

食育に用いる媒体（ツール）を紹介します！

保育園では、子どもたちや保護者の方などに食べ物や栄養の話をする際に、さまざまな媒体を用いています。正しい食の知識をわかりやすく、そしてたのしく伝えるためには媒体選びは重要なポイントになります。

エプロンシアター、パネルシアター、紙芝居、絵本、カルタなどなど、たくさんの媒体がありますが、今回はその一部を紹介いたします。

①「エプロンシアター」～けんたくんの歯と骨を丈夫にする食事



甘いものが大好きなけんたくんはおやつばかりで、ごはんをあまり食べません。虫歯にならない丈夫な歯をつくるには、どんなものを食べたらいいのかな？ 終了後に「けんたくん、またきてね。」次の日にも、「けんたくんは？ちゃんとごはんたべてるかなあ」と声をかけてくれました。

②「パネルシアター」～げんき星人～

元気になるにはどんな食事が良いのかを、元気いっぱい元気星人から教わりました。「パワー」「ストロング」「ヘルシー」のグループに分けられることと、この3つをバランス良く食べることが元気のもとであることを学ぶパネルシアターです。

幼児クラスでは給食の食材を3このグループに分けて、食べ物の絵(パネル)を貼っていますが、この時間が楽しいひとときになっています。



③パネル 「離乳食の進め方」



地域に住んでいる親子の方を対象に行っている地域交流などで離乳食作りのポイントを紹介しています。
食材ごとに刻み方や、調理のコツなど写真とともにわかりやすくまとめています。



③「紙芝居」



食べ物の働きを知り、好き嫌いをしないでバランスよく食べると病気にならない健康な体ができるよという内容の紙芝居です。
子ども達は「好き嫌いないよ」と言いながら、この日の給食も食べていました。